

ノベロン(マーベロンジェネリック)服用ガイド

適応症

避妊 <その他>
月経困難症候群、月経前症候群(PMS)、子宮内膜症、難治性ニキビなど

用法と用量

ノベロン(Novelon・マーベロンジェネリック)は1日1回1錠、毎日同じ時間帯に服用します。マーベロンジェネリックは1相性と呼ばれる低用量ピルで、全ての錠剤が同一のホルモン量で構成されています。そのため従来の低用量ピルのように順番に沿って服用する必要がなく服用方法が単純なので、間違いの心配がありません。

基本的には、生理開始日から服用を開始してください。生理開始日から服用すると、その日から高い避妊効果を発揮することができます。生理開始日以外の日からの服用だと服用7日目までは十分な避妊効果が期待できないため、服用開始日から7日間はノベロンを服用していても別の避妊方法と併用する必要があります。

1シートに21錠セットされているので、21日間に渡って毎日服用します。そして22日目から7日間休薬してください。この休薬期間を含めた合計28日間は生理周期となります。休薬期間中に消退出血(生理ととらえて問題ありません。)が起こります。29日目からは次の周期となるので、新しいシートの服用を開始してください。尚、出血の有無に関係なく7日間の休薬期間を終えたら必ず翌日から新しいシートの服用を開始してください。

一定の血中濃度を維持して効果を安定させるため、毎日一定の時刻に服用するよう心がけてください。食事や時間帯の影響は受けないので、何時に服用しても構いません。もしも服用する時間帯を変えたい時は、12時間程度以内の時間の変更であればほとんど影響しません。尚、食事のタイミングは気にせずに服用できます。

マーベロンジェネリックの服用開始日は主に3パターンの開始日がありますが、上記にも記載した通り、特に問題がなければ「生理1日目」から服用してください。

生理予定日が遠い、早急に飲み始めたいという方は他の日程でも問題はありませぬ。ただし効果の発現に違いが出てくるので注意が必要です。

●Day1スタート

生理開始日(生理が来た日が生理周期1日目とカウントされるので、臨床の現場ではこの日を「D1」と呼びます。)から服用を開始します。この方法が一番避妊効果が高く即効性があるため、最も推奨されています。

生理中、体内では卵巣が排卵準備を始める状態にいます。この期間中に服用することによって排卵を確実に抑制できるため、服用初日から避妊効果を発揮するのです。また、生理周期を一定(28日周期)に保つこともすぐできます。

●サンデースタート

生理が始まってから最初に来る日曜日から服用を開始します。曜日固定スタートは覚えやすく分かりやすいことがメリットですが、十分な避妊効果を発揮するのは服用を開始してから1~2週間後となります。

はじめの7日間は避妊効果が期待できないのでコンドームなどピル以外の成功率が高い避妊処置を併用する必要があります。

●クイックスタート

次の生理まで時間を要する・待ちたくない場合など、生理周期と関係ないタイミングで服用を開始します。

サンデースタートと同様に、避妊効果を発揮するのは服用を開始してから1~2週間後となるので注意してください。

服用にあたっての注意点

●副作用について

頭痛、胸のむかつき、吐き気、下腹部痛、動悸、めまい、乳房の張り・痛み、不正出血、眠気、倦怠感など「つわり」のような症状が起こることがあります。特に頭痛や吐き気が比較的起こりやすい症状です。

これらはマーベロンジェネリックによって身体のホルモンバランスが妊娠時のような状態になることから来ており、ホルモンバランスの変化によるものなのでさほど心配いりません。症状は軽度であることが多く、服用を続けていくと身体が慣れ症状は消失します。症状が重い場合や一向に改善しない場合は早めに医師に相談してください。

重篤な副作用として、血栓症が稀に報告されています。血管中に血栓ができて詰まるという病態ですが、部位によっては心筋梗塞など命に関わることもあり危険です。息切れ、胸痛、痺れ、激しい腹痛・頭痛、舌のもつれ、視力障害、失神などといった血栓症の主な初期症状の発現に注意してください。服用後に何らかの明らかな身体の異常が起きた際は、服用を中止してすぐ受診してください。

40歳以上/喫煙/血栓症・乳がん・子宮がんの既往歴や家族歴/肥満/糖尿病/肝障害/腎障害/心臓病/高血圧

上記いずれかに該当する方は血栓症の発現リスクが高いため、慎重な注意が必要です。マーベロンジェネリック服用中は極力禁煙してください。

●服用できない方

乳がん・子宮がんなどエストロゲン依存性悪性腫瘍
血栓症(血栓性静脈炎・肺塞栓症・脳梗塞・狭心症・心筋梗塞)/診断が確定していない異常性器出血/糖尿病性腎症や糖尿病性網膜症/前兆を伴う片頭痛
重度の高血圧症や心臓病/重度の肝臓病/長期間の安静状態(寝たきり)/35歳以上で1日15本以上の喫煙者/妊娠中・授乳中/骨成長が終了していない

上記いずれかに該当する方はマーベロンジェネリックを服用しないでください。

●効果の発現について

服用開始日が生理初日ではない場合、マーベロンジェネリックの避妊効果が十分に発揮されるのは服用開始後7日目以降です。その場合はマーベロンジェネリックを服用していても最低服用7日目までは他の避妊法と併用してください。生理初日から服用を開始した場合は確実に排卵が抑えられるため、十分な避妊効果を発揮します。

●飲み忘れについて

マーベロンジェネリックを正しく服用すれば95%以上の確率で妊娠を回避することができますが、頻りに飲み忘れたり時間帯が大きくバラバラだと避妊効果が下がり妊娠に至ることがあります。

毎日同じ時間帯に服用するのと、服用予定時間から24時間以内であれば気付いた際にすぐ服用してください。

最後の服用から48時間以上経過してしまった場合は避妊効果は期待できなくなります。

併用禁忌薬

以下がマーベロンジェネリックの併用禁忌薬です。

併用禁忌薬

●C型慢性肝炎治療薬

・オムビタスビル・パリタプレビル・リトナビル
(商品名ヴィキラックス)

上記の薬剤は肝機能値が悪化する恐れがあるため、マーベロンジェネリックとは併用できません。

その他、禁忌ではありませんが併用注意薬が多数あります。

併用注意薬

●抗結核薬

・リファンピシン(商品名リファジン、アプテシン)

●抗てんかん薬全般

・フェノバルビタール(商品名フェノバル)
・フェニトイン(商品名ヒダントール、アレビアチン)
・カルバマゼピン(商品名テグレート)

●抗生物質

・テトラサイクリン系抗生物質(商品名ミノマイシン、ミノサイクリンなど)
・ペニシリン系抗生物質(商品名サワシリン、パセトシンなど)

●健康食品(サプリメントやハーブティーに含有)

・セイヨウオトギリソウ(セント・ジョーンズ・ワート)
・チェストベリー、チェストツリー(バスタップサプリメント)

上記の薬剤は、禁忌ではありませんが併用によってマーベロンジェネリックの効果が減弱する恐れのあるものです。

他にも飲み合わせに注意が必要な薬が存在するので、何らかの疾患で薬を服用している方はマーベロンジェネリックの服用を開始する前に必ず医師か薬剤師に相談してください。

効果を最大化するために

マーベロンジェネリックの効果を最大級に発揮させるには、以下の事項を守るように心がけましょう。

●Day1スタート(生理初日)で服用する

生理初日から服用を開始すると、その日から高い避妊効果があります。また、生理周期が早い段階で一定(28日周期)になるというメリットもあるので最も推奨されている方法です。

●服薬管理をして必ず正しく服用する

飲み忘れが2回以上あると避妊効果が減弱して妊娠が成立することがあります。毎日決めた時間帯に正しく服用することが非常に大切なポイントとなります。

特に休薬期間後の次の周期に入る時、すなわち新しいシートでの1錠目を飲み忘れてしまわないように注意してください。ここを飲み忘れた場合は、マーベロンジェネリックの服用を開始しても少なくとも7日間は他の避妊法と併用してください。

●その他

もしもマーベロンジェネリック服用後に嘔吐してしまった場合は、3時間以内であれば追加で1錠服用し直してください。3時間以上経過していれば、薬は体内に吸収されているので問題ないかと思われます。

嘔吐もですが、中～重度の下痢を起こした場合も薬が体内で吸収されないまま体外に排出されてしまうことがあります。また、下剤の服用も薬が吸収されないまま排出される可能性があります。このような胃腸症状をお持ちで薬がちゃんと体内に吸収されているかどうか不安&妊娠を望まない場合は、他の避妊法と併用しておくことを推奨します。

また、マーベロンジェネリックを正しく服用していても性感染症を防ぐことは全くできないことを留意してください。